

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-64	中学校	保健体育	保健体育	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	保体727	保健体育		

① 編修の趣旨及び留意点

教育基本法, 学校教育法, 及び学習指導要領に則って, 中学生が保健体育の知識と教養を身につけ, 健やかな心身を養うとともに, 将来にわたって運動やスポーツに親しみ, 健康でいきいきとした人生を送るために役に立つ教科書をめざしました。

② 編修の基本方針

- 基礎的・基本的知識が確実に習得できるようにする。
- 思考力・判断力・表現力を育成するための工夫を用意する。
- 自発的・自主的な学習の姿勢が身につくよう工夫する。
- 科学的な根拠をふまえて, 正確に表現する。
- 記述の裏付けとなったり理解を助けたりする資料を豊富に用意する。
- イラストや記述等において, 男女の平等という観点から配慮する。
- カラーユニバーサルデザインにもとづき, グラフの表現や色づかいに配慮する。

③ 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵	<ul style="list-style-type: none">●我が国で4回目となるオリンピック・パラリンピックが開催されること, また, これまでの大会における日本人選手の活躍や, 2020年大会で活躍が期待される選手を取り上げました(第5号)。●健康で充実した人生に向け, 中学生のいま, 健やかな身体を養うことが大切であることを取り上げました(第1号)。●災害時の支援と復旧・復興に国や地方自治体やボランティアが取り組んでいることを紹介しました(第3号)。●人びとの健康に貢献した郷土の偉人を紹介しました(第3号, 第5号)。	口絵1,2 口絵3,4 口絵6 口絵8
体育編 第1章 運動やスポーツの 魅力と学び方	<ul style="list-style-type: none">●運動やスポーツを積極的に行って, 健やかな身体を養う必要があることについて述べました(第1号)。●運動やスポーツにかかわる様々な職業があることを取り上げました(第2号)。	p.4~5 p.7
体育編 第2章 運動やスポーツの 効果と安全	<ul style="list-style-type: none">●健やかな身体を養うことの大切さと, その具体的な行い方について述べました(第1号)。●運動やスポーツが豊かな情操と道徳心を培う良い機会となることや, 運動やスポーツの中でよい人間関係を築くには自他の協力が不可欠であることについて述べました(第1号, 第3号)。	p.14~19 p.24~25

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
体育編 第3章 文化としての スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツという世界共通の文化を、我が国も積極的に振興していることを取り上げました(第5号)。 ●スポーツが世界平和に寄与していることについて述べました(第5号)。 ●現在では、スポーツの機会が男女平等に保障されていることを取り上げました(第3号)。 ●我が国がアジアで初めてオリンピック・パラリンピックを開催したことを紹介しました(第5号)。 	<p>p.33</p> <p>p.34~35</p> <p>p.36</p> <p>p.37</p>
保健編 第1章 心身の機能の 発達と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ●健やかな身体を養うために中学生期が重要な意味を持つことを述べました(第1号)。 ●男女が互いに尊重し、高めあえる対等な人間関係をつくるのが大切であることを述べました(第3号)。 ●人間は誰もかけがえない存在であり、人生を悲観する必要のないこと、思い詰めたときには助けを求めることができることを伝えるとともに、信頼できる相談機関をあげました(第2号, 第4号)。 	<p>p.42~43</p> <p>p.50</p> <p>p.57,65</p>
保健編 第2章 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ●環境の保全のために私たちができることがあることを、項目を立てて取り上げるとともに、自宅のCO₂排出量を調べる課題を設けました(第4号)。 	<p>p.80~83,</p> <p>p.84</p>
保健編 第3章 けがの防止	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の率先避難や、自ら積極的に人命救助にあたることの意味を述べました(第3号, 第4号)。 ●AEDの使い方の練習や、心肺蘇生法の練習を取り上げました(第3号, 第4号)。 ●ふつうに暮らしている毎日が貴重であるという内容が含まれた、東日本大震災で被災した中学校の卒業式における生徒の答辞を掲載しました(第3号, 第4号)。 	<p>p.95,98</p> <p>p.106,107</p> <p>p.108</p>
保健編 第4章 健康な生活と 病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ●喫煙・飲酒・薬物の誘惑を客観的に分析したり、断るスキルを学んだりすることのできる課題を設けました(第1号)。 ●医療関係のNPOのスタッフとして外国の紛争地域で働く看護師の手記を掲載しました(第5号)。 	<p>p.129,133,</p> <p>137</p> <p>p.156</p>

4 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 「運動やスポーツの心への効果」の項目で、適切に運動やスポーツを実践すれば「自律及び共同の精神、規範的意識」(学校教育法第21条一)を養うことができることについて述べました(22, 24ページ)。
- 「交通事故によるけがの防止」「喫煙と健康」「薬物乱用」の項目で、「規範意識」(学校教育法第21条一)の涵養に意を用いました(90, 128, 136ページ)。
- 学校教育法第21条八は保健体育科が中心となって担うべきであることをふまえ、体育理論では体育実技やスポーツ活動を通して、体力を養うのに役立つ内容とすることに、また保健分野では健康・安全のために必要な習慣を形成するために役立つ内容とすることに意を用いました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-64	中学校	保健体育	保健体育	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	保体727	保健体育		

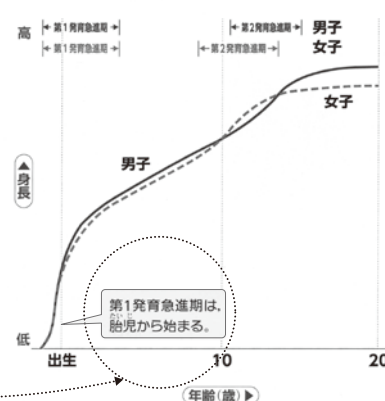
① 編修上特に意を用いた点や特色

基礎的・基本的な知識の習得のために

- 文章は、中学生が読んで理解し納得できるよう、**論理性**や**具体性**を重視しました。
- 学習を進めるにあたってポイントとなる**重要語句**を太字にするとともに、その学習項目を代表する概念を **キーワード** にまとめました。
- 本文の内容を裏づけたり、理解を助けたりする資料 (**図表**や**写真**) を豊富に用意しました。
- 図版の中の読み取ってほしい**大事なポイント**を、吹き出しにして示しました。
- 実際に体を使って理解する必要のある内容を、**実習**として設けました。

▼本文42ページより

図1 年齢による身長の変化



自主的・自発的な学びのために

- 各章のはじめに、中学生が抱く疑問を掲げ、その章で学ぶことを**大きくつかむ**ことができるようにしました。
- 各章の最後には [学習のまとめ] のページを設け、復習 ([**学んだことを振り返ってみよう**]), 生活への応用 ([**学びを生かそう**]), 学習の発展 ([**学びを広げよう**]) ができるようにしました。
- 各項目の冒頭に、学習の動機づけとなる**導入発問 [Question]** を設けました。

Question クエスチョン

東京マラソンには約5万人が参加します。
そのうち、ランナーとしての参加者は何人だと思いませんか。



◀本文6ページより

- 各項目の最後には自ら考え・判断し・表現する力が身につくよう、**項末課題 [Try]** を設けました。

Try トライ

あなたは、生活の中で、運動やスポーツとどのようにかかわっているだろう。「する」「みる」「支える」「調べる」について、それぞれどのようなことをしているか、書きだしてみよう。

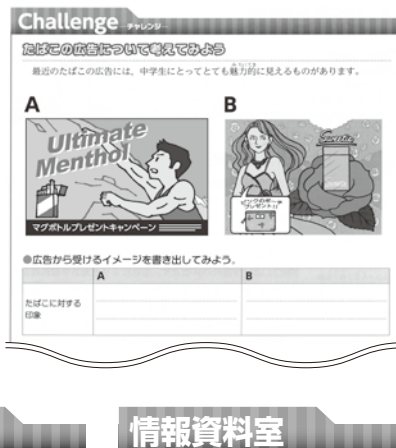
◀本文7ページより

- 中学生に興味・関心のある**運動・スポーツ**に関する話題や、中学生に関わる**健康課題**を積極的に取り上げました。**コラム** **事例**

思考力・判断力・表現力を育成するために

- 学習指導要領に示された指導方法の工夫（内容の取扱い(10)）をふまえ、**ディスカッション**、**ブレインストーミング**、**実習**、**課題学習**の概要と、**コンピュータの活用**について説明するページを設けました。
- 学んだことを生かして実際に考える課題 **活用** を設けました。
- 中学生にとって重要と思われる学習項目は**4ページ**で構成し（通常項目は2ページ構成）、学んだ知識が実生活に生きて働くよう、自分の問題として考えさせる課題 **Challenge** や、生活に関連した情報を提供するページ **Topic**、**Q&A**、**情報資料室** を設けました。

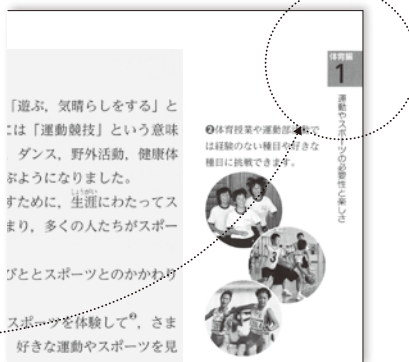
▼本文129ページより



見やすく、学びやすい教科書であるために

- 教科書の使い方を説明するページを設け、**学習の流れ**を分かりやすく示しました。
- 本文に薄黄の地色を敷いて注や図表と区分し、メリハリのある**見やすい紙面**にしました。
- 教科書の側面（小口）に、体育編・保健編の別、章番号、項目名を記すとともに、章ごとに色の異なるツメを設け、**検索しやすい**ようにしました。

▼本文5ページより



2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
体育編 第1章 運動やスポーツの魅力と学び方 1. 運動やスポーツの必要性和楽しさ	(1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 ア 運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。	p.4~5	1
2. 運動やスポーツへのかかわり方	イ 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様なかかわり方があること。	p.6~7	1
3. 運動やスポーツの学び方	ウ 運動やスポーツには、特有の技術や戦術があり、その学び方には一定の方法があること。	p.8~11	1
体育編 第2章 運動やスポーツの効果と安全 1. 運動やスポーツの体への効果	(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。 ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。	p.14~19	1

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
2. 運動やスポーツの心への効果	ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。 イ 運動やスポーツは、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。	p.22~25	1
3. 運動やスポーツの安全なおこない方	ウ 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があること。	p.26~29	1
体育編 第3章 文化としてのスポーツ 1. 生活を豊かにするスポーツ	(1) 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。 ア スポーツは文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であること。	p.32~33	1
2. 国際的スポーツ大会の役割	イ オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。	p.34~37	1
3. 人びとを結ぶスポーツ	ウ スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。	p.38~39	1
保健編 第1章 心身の機能の発達と心の健康 1. 体の発育・発達 2. 呼吸器・循環器の発育・発達	(1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 ア 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。 (内容の取扱い)内容の(1)のアについては、呼吸器、循環器を中心に取り扱うものとする。	p.42~45	2
3. 生殖にかかわる働き の成熟 4. 性への関心と行動	イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。 (内容の取扱い)内容の(1)のイについては、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠を取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。また、身体の機能の成熟とともに、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、情報への適切な対処や行動の選択が必要となることについて取り扱うものとする。	p.46~51	3
5. 心の発達と社会性 6. 自己形成	ウ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。	p.52~57	2
7. 欲求と欲求不満 8. 心と体のかかわり 9. ストレス対処と心の健康	エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。	p.58~65	3

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
保健編 第2章 健康と環境 1. 環境の変化への体の適応 2. 快適で能率のよい環境	(2) 健康と環境について理解できるようにする。 ア 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。	p.68～73	2
3. 衛生的な飲料水の供給 4. 空気の汚染と換気	イ 飲料水や空気は、健康と密接なかわりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があること。	p.74～77	2
5. し尿とごみの処理 6. 私たちの生活と環境問題	ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。 (内容の取扱い)内容の(2)については、地域の実態に即して公害と健康との関係を取り扱うことも配慮するものとする。	p.78～83	3
保健編 第3章 けがの防止 1. けがの原因と防止	(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 ア 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などがかわって発生すること。	p.86～87	1
2. 交通事故によるけがの防止 3. 犯罪被害の防止	イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。	p.88～93	3
4. 自然災害への備えと避難	ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	p.94～97	2
5. 応急手当の基本 6. けがの応急手当 7. 心肺蘇生法	エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。 (内容の取扱い)内容の(3)のエについては、包帯法、止血法など傷害時の応急手当も取り扱い、実習を行うものとする。	p.98～107	4
保健編 第4章 健康な生活と病気の予防 1. 健康を左右するもの	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 ア 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生すること。	p.110～111	1
2. 運動と健康 3. 食事と健康 4. 休養・睡眠と健康 5. 生活習慣病とその予防	イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。 (内容の取扱い)内容の(4)のイについては、食育の観点も踏まえつつ健康的な生活習慣の形成に結び付くように配慮するとともに、必要に応じて、コンピュータなどの情報機器の使用と健康とのかかわりについて取り扱うことも配慮するものとする。	p.112～125	7

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
6. 喫煙と健康 7. 飲酒と健康 8. 薬物乱用と健康	ウ 喫煙, 飲酒, 薬物乱用などの行為は, 心身に様々な影響を与え, 健康を損なう原因となること。また, これらの行為には, 個人の心理状態や人間関係, 社会環境が影響することから, それぞれの要因に適切に対処する必要があること。 (内容の取扱い) 内容の(4)のウについては, 心身への急性影響及び依存性について取り扱うこと。また, 薬物は, 覚せい剤や大麻等を取り扱うものとする。	p.126~137	6
9. 感染症と病原体 10. 感染症の予防 11. 性感染症の予防 12. エイズの予防	エ 感染症は, 病原体が主な要因となって発生すること。また, 感染症の多くは, 発生源をなくすこと, 感染経路を遮断すること, 主体の抵抗力を高めることによって予防できること。 (内容の取扱い) 内容の(4)のエについては, 後天性免疫不全症候群(エイズ)及び性感染症についても取り扱うものとする。	p.138~147	4
13. 医薬品の正しい使い方 14. 医療・保健機関とその利用	オ 健康の保持増進や疾病の予防には, 保健・医療機関を有効に利用することがあること。また, 医薬品は, 正しく使用すること。	p.148~153	2
15. 個人の健康を守る社会の取り組み	カ 個人の健康は, 健康を保持増進するための社会の取組と密接なかわりがあること。	p.154~155	1
計			57

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-64	中学校	保健体育	保健体育	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	保体727	保健体育		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
11	Challenge チャレンジ 効果的な学び方を考えよう	1	(1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 ウ 運動やスポーツには、特有の技術や戦術があり、その学び方には一定の方法があること。
18,19	Challenge チャレンジ 体力を高める運動の計画を立てよう	1	(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。 ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。
25	Challenge チャレンジ ソーシャルスキルを高めよう	1	(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。 イ 運動やスポーツは、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。
30	学びを広げよう 運動やスポーツと脳	2	(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。 ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。
49	Q&A 健康相談コーナー	1	(1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。 (内容の取扱い) 内容の(1)のイについては、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠を取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。また、身体の機能の成熟とともに、性衝動が生じたり、異性への関心が高まったりすることなどから、異性の尊重、情報への適切な対処や行動の選択が必要となることについて取り扱うものとする。
71	情報資料室 熱中症の応急手当	1	(2) 環境と健康について理解できるようにする。 ア 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。
83	Topic トピック 地球温暖化、放射線と健康	2	(2) 環境と健康について理解できるようにする。 ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。
84	学びを広げよう わが家の二酸化炭素排出量を調べてみよう	2	(2) 環境と健康について理解できるようにする。 ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。
93	コラム ネットワーク利用犯罪から身を守る	2	(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
93	活用 危険予測	2	(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。
106	実習 AEDの使い方を練習してみよう	1	(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。 高等学校(1)現代社会と健康 オ応急手当 (内容の取扱い) 内容の(1)のオについては、実習を行うものとし、呼吸器系及び循環器系の機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。また、効果的な指導を行うため、「体育」の「D水泳」などとの関連を図るよう配慮するものとする。
115	Challenge 自分の身体活動レベルを計算してみよう	2	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。
117	コラム 食物アレルギー	2	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。 (内容の取扱い) 内容の(4)のイについては、食育の観点も踏まえつつ健康的な生活習慣の形成に結び付くように配慮するとともに、必要に応じて、コンピュータなどの情報機器の使用と健康とのかかわりについて取り扱うことも配慮するものとする。
119	Challenge 太っている？ やせている？ ～自分の標準体重を知って正しく判断しよう～	2	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。
125	情報資料室 がんに対するさまざまな取り組み	2	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 カ 個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取組と密接なかかわりがあること。
143	Topic インフルエンザについて	1	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 エ 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。
149	コラム 対症療法薬と原因療法薬	1	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 オ 健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することがあること。また、医薬品は、正しく使用すること。
151	Q&A 薬についての常識、あなたは知っている？	1	(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 オ 健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することがあること。また、医薬品は、正しく使用すること。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 18ページ)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容